

## 〔栃木県農地・水保全管理支払交付金通信〕

編集・発行 栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会 〒321-0901 宇都宮市平出町 1260 水土里ネットとちぎ内  
 TEL:028-660-5702 FAX:028-660-5711 E-mail:kaiinshien@tcgdoren.or.jp URL:http://www.tcnouchimizu.net/

### 平成22年度における実施状況

#### ◆共同活動の取組状況

市町数	活動組織数	取組面積 (ha)			
		計	田	畑	草地
26	378	30,167	26,515	3,620	32

○活動組織数は全国24位、取組面積は全国15位

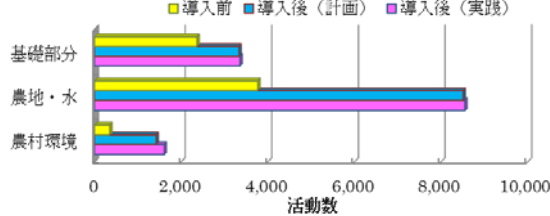
#### ◆営農活動の取組状況

市町数	活動組織数	区域数	取組面積 (ha)	
			うち水稲面積	
14	53	73	1,821	1,698

○活動組織数は全国16位、取組面積は全国10位

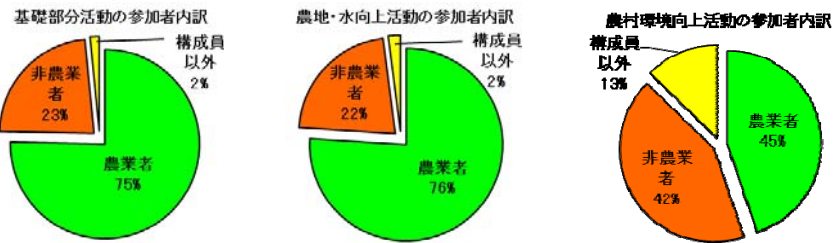
#### ◆活動の状況

##### 対策導入に伴う活動数の変化



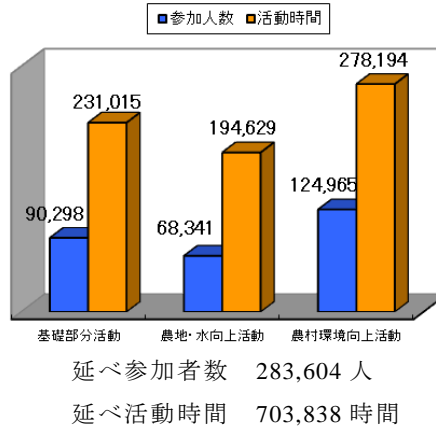
対策導入前に比べ「草刈りや泥上げなどの**基礎部分活動が1.4倍**」「施設補修等を中心とした**農地・水向上活動が2.3倍**」「生態系保全や景観形成などの**農村環境向上活動が4.6倍**」実践されました。

#### ◆参加者の状況



活動の延べ参加者数は28.4万人、時間は70.4万時間となっています。参加者の内訳は、基礎部分活動及び農地・水向上活動で**農業者が8割・非農業者が2割**、農村環境向上活動で**農業者が5割・非農業者が4割・構成員以外(都市住民等)が1割**でした。

#### 活動の「延べ参加者数」「時間数」の状況



#### <生きものだまり>



地域で籠を編んで、生きものだまりを設置しています。

飯室地区農地・水・環境保全向上対策推進協議会(高根沢町)

#### <水路環境の改善>



排水路の落差に手づくりの魚道を設置し、水路を魚が上がるようにしています。

堀越自然を守る会(那須塩原市)

#### <水田内の避難場所>



中干し期におけるトンボのヤゴやオタマジャクシの生息環境を守るため、田んぼの中に深みを形成しています。

井岡不動の郷(小山市)

#### ◆平成22年度の特徴的な取組◆

すべての活動組織が実施している「田んぼまわりの生きもの調査」を通じて、地域環境への関心が深まるとともに、生態系を守るための様々なエコアップ活動が展開されています。ここでは、県協議会に報告があった平成22年度エコアップ活動の一部を紹介します。

<水田魚道> 水田で産卵するドジョウやタモロコなどが遡上できるように、水田魚道を設置しています。(H19~H22 46組織(69基))



迫間田の郷(小山市)



麓関の自然をまもる会(高根沢町)

#### <<水田魚道の設置状況>>

規格	設置数
ポリ製 180U	51
ポリ製 240U	3
ポリ製 300U	1
ポリ製丸型 φ150	1
ポリ製丸型 φ180	4
ポリ自作(木製隔壁)	1
波付U型自作(開渠)	1
木製自作	7
計	69

#### ◆対策に係る重点取組事項について◆

活動のステップアップや組織運営の充実に向けて、以下の取組を促進していきましょう。

##### (共同活動支援)

##### ◆将来に向けた体制づくり

○ これまでの活動を振り返るとともに、地域における十分な話し合いの下、「**地域の将来像**」や「**共同活動の保全体制**」を明確にしましょう。



体制整備構想の策定

○ **自立した活動**が実施できるように、施設補修や環境保全等に係る**技術・知識の習得**に努めましょう。



技術研修会の開催

専門家(アドバイザー)の活用

##### ◆多様な主体の参画による活動

○ 豊かな農村環境を保全・継承していくため、地域の実情を踏まえながら、企業や大学、NPO、都市住民など、**様々な主体との連携**を検討しましょう。

○ **地域を牽引する人材等の資質向上や確保**に向けた取組を充実させていきましょう。



グレードアップ推進講座への参加

共同活動担い手や農業担い手との意見交換

##### (向上活動支援)

##### ◆農業用施設の長寿命化対策

○ 老朽化が進行し、日常の保全管理に支障を来している施設の**長寿命化対策**に積極的に取り組みましょう。

##### ◆地域環境への配慮

○ 農業用施設の補修・更新等に当たっては、**地域の生態系に配慮**しましょう。



生きものだまり、U字溝へのカエル蓋設置(移動経路確保)、土水路の一部確保、水路補修時等の生きもの移動などの取組

# 東日本大震災による被災施設の復旧事例紹介

東日本大震災により県内でも多くの農業用施設が被災しましたが、農地・水保全管理支払交付金を活用し、22組織が復旧活動に取り組んでいます（平成23年7月末現在）。ここでは、その復旧事例の一部を紹介します。

## ◆ 桑窪地区農地・水・環境保全向上対策推進協議会（高根沢町）

### 震災による被害状況



地震により受台から落下した水路

### U字フリームの破損



### 復旧活動の状況



再布設したU字フリームの目地詰め

### 復旧した水路の通水状況



## ◆ 藤田地域資源保全隊（那須烏山市）

### 震災による被害状況



地震による農道法面の崩落

### 農道法面の崩落による水路の埋没



### 復旧活動の状況



法面崩落箇所の掘削

### 竹を利用した土留め工の設置状況



## ◆ 栃木県農村地域資源保全向上対策委員会（県第三者委員会）が開催されました

7月27日（水）、栃木県は、「栃木県農村地域資源保全向上対策委員会」（委員長：宇都宮大学農学部水谷教授）を開催し、那須塩原市三区町において、現地視察や地元活動組織「三区町環境保全隊」の方々と意見交換を行いました。

現地では、組織役員から当保全隊の中心活動である「那須疏水&田園ウォーク in 三区」（歴史的施設や那須疏水を地域外住民も含めた多くの住民で巡る取組）の概要説明を聞くとともに、合鴨農法の圃場を視察しました。

その後地元公民館で行われた意見交換では、当委員会委員より「NPO法人を立ち上げ、農地・水活動だけでなく、地域の歴史的施設を保全していく取組について、今後注目していきたい」、「合鴨農法をはじめ、化学肥料や化学合成農薬の使用抑制に農業者ぐるみで取り組んでおり、営農においても環境配慮への意識が高い地区であると感じた」、また活動組織より「農地・水事業を通して築き上げた人と人の繋がりや保全意識の高まりを維持していきたい」などの意見が出され、大変有意義なものとなりました。



那須疏水&田園ウォーク in 三区



現地視察の様子



意見交換の様子

## ☆ 栃木県からのお知らせ ☆

### ◆ とちぎのふるさと田園風景百選に係るデジタルマップとラジオ番組がスタートしました

とちぎのふるさと田園風景百選に認定された102地域（うち52地域が農地・水保全管理支払交付金実施地域）の魅力を紹介するものですので、是非、「見て」「聞いて」ください。



「とちぎのふるさと田園風景百選マップ」へは、「とちぎアグリネット」から  
<http://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/tochigi-event/denenmap>

### 栃木放送でラジオ番組放送中！！

★ 「とちぎのふるさと田園風景百選」  
 毎（月・水・土）17:05～17:10



＜お問合せ先＞  
 栃木県農政部農村振興課

〒320-8501 栃木県宇都宮市埴田1丁目1番20号  
 Tel 028-623-2338 fax 028-623-2337  
 Email noson-sinko@pref.tochigi.lg.jp